

# 事務事業評価シート

(H.29)No.	1058	(H.28)No.	1058
-----------	------	-----------	------

事務事業名	子ども条例推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	子ども家庭室	福地 さおり	

会計区分	事業コード	191601
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	子ども条例推進事業	
項 児童福祉費	(小事業名)	
目 児童福祉総務費	子ども条例推進事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	3	地域福祉の充実
	施 策	3	子ども・子育て支援
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
市民、行政、事業者などの役割を明確にしながら、子どもの権利の保障と救済を図り、総合的な子育て支援と青少年の健全育成に資する。
事業内容
子どもの権利にかかる施策を総合的に推進し、子どもの権利保障と青少年の健全な育成を図るための名張市子ども条例に基づく基本計画を平成20年度策定(現行は第3次)。基本計画に基づき、子どもの権利の保障と救済を図るとともに、権利週間事業、子ども会議など、「子どもの支援事業」の積極的な展開を図る。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	・名張市子ども条例に基づく基本計画「ばりっ子すくすく計画」の推進	・名張市子ども条例に基づく基本計画「ばりっ子すくすく計画」の推進及び見直しを行い、第4次計画を策定する。	・名張市子ども条例に基づく基本計画「ばりっ子すくすく計画」の推進	・名張市子ども条例に基づく基本計画「ばりっ子すくすく計画」の推進	・名張市子ども条例に基づく基本計画「ばりっ子すくすく計画」の推進

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		436千円		975千円	975千円	975千円	975千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他( )						
	一般財源	0	436	0	975	975	975
人工数	職員		0.58人	1.36人	1.36人	1.36人	1.36人
	臨時職員等		0.64人	0.66人	0.66人	0.66人	0.66人
②概算人件費	0千円	5,438千円	0千円	11,322千円	11,322千円	11,322千円	11,322千円
①+②総事業費	0千円	5,874千円	0千円	12,297千円	12,297千円	12,297千円	12,297千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
これまで行ってきた、小中学校へ配布する相談室だより「ほっとライン」に加えて、新たに高等学校等へ「ほっとラインPlus」を作成し、子ども条例の周知を図った。一方で、子ども相談電話の利用が減少傾向にあることから、相談時間帯、相談方法についての検討が必要となっている。学校等での子ども条例の周知について、子ども相談員の派遣による授業や人権学習等へ組み込んでもらうことについて、改めて名張市小中学校長会議等で依頼を行った。企業・地域へは、今後も新規の啓発活動が展開出来るよう積極的に依頼するなどし、啓発活動を広げていきたい。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等) 子ども相談室での相談時間帯を見直し、相談室の利便性を図る。また、不至・電話以外の相談方法についても検討し、相談体制の充実を図る。さらに、子ども相談室だより「ほっとライン」と「ほっとラインPlus」の発行を継続し、市内全ての小・中・高生へ子ども条例の啓発を引き続き行う。 「ばりっ子すくすく計画(第3次)」の見直しにより、平成30年4月から平成33年3月までの「ばりっ子すくすく計画(第4次)」策定における、子ども権利委員会において検討を行う	6. 事務事業の取組に関する市の計画 ばりっ子すくすく計画